

脚 本 名	MKW48
作 者 名	菊本巨孝と岸根高校演劇部
上 演 学 校 名	県立岸根高等学校
あ ら す じ	中学校の卒業式の日。私の前に未来から来た私がやってきた。しかもたくさん。戸惑う私に一人の私が声をかける。「なにか悩んでいるでしょ?」「ぼんやりした不安を解消してあげるよ」これは、私が私と向き合う、私のお話。
作 者 連 絡 先	kikumoto@pen-kanagawa.ed.jp (菊本巨孝あて) kick.book.0302@gmail.com (菊本巨孝あて)
備 考	第 63 回大会

M
K
W
4
8

（顧問＋生徒創作）
作／菊本亘孝と岸根高校演劇部

登場人物

前田ミク（私）…中学校の制服 中学校の卒業式が終わったくらい

未来から来た私たち・高校の卒業式が終わった頃・（ ）の中は略称 …以下は衣装案

オタクの私（オタク）…新選組の羽織

一軍女子の私（一軍）…華やかな制服の着こなし

野球部のマネージャーの私（マネ）…ジャージ

バスケットボール部の私（バスケ）…バスケットボール部のユニフォーム

アルバイトをしている私（バイト）…バイト先の制服

応援団の私（応援団）…学ラン

評定平均が高い私（賢い）…きちっとした制服の着こなし

評定平均が低い私（悪い）…崩れた制服の着こなし

失恋した私1（失恋1）…大阪班別自主行動のときの私服

失恋した私2（失恋2）…夜寝るときの格好

失恋した私3（失恋3）…USJっぽい私服

彼氏がいる私（リア充）…彼氏がいるっぽい制服

評定平均が普通の私（普通）…制服

おやじギャグが好きな私（おやじ）…制服

調理系の専門学校に進学する料理が趣味の私（調理）…エプロン

文化祭の衣装を着ている私（文化祭）…文化祭で使った衣装

スラックスが似合う私（スラ）…スラックス

○○な私（ミク）…制服・裸足

私のお父さん（父）…私はお父さんと二人暮らしをしている

秋本タカシ（男）…彼氏

担任の先生

顧問の先生

友達 野球部のマネージャーになる友達

係員 USJの係員

父と私との会話。

私 ごちそうさまでした。

父 お粗末さまでした。

私 …。

父 食器は流しに置いておいてくれればいいから。

私 (無言で流しに置く)

父 卒業式、行けなくてごめんな。

私 いいよ、別に。

父 お昼には終わるのか？

私 …たぶん。

父 そっか。

私 …。

父 お昼ご飯、用意しておくよ。

私 友達と食べてくるからいい。

父 …そっか。

私 …。

父 ミクも4月からは高校生か。

私 …。

父 高校でも部活に入るのか？

私 …。

父 入った方が楽しいぞ、きっと。

私 …。

父 家のことは、気にしなくても大丈夫だからな。

私 …。

父 ミクの人生なんだし、ミクのやりたいことをやればいいから。

私 (小声で) やりたいこと…。

父 頑張れよ。

私 …。

父 (咳き込む)

私 !

ふと奥(にある遺影)に目をやる私。

私 …お母さん、いくつで亡くなったんだっけ？

父 ミクが幼稚園に入る少し前かな。

私 …。

父 どうかしたか。

私 別に。

父 そうか。

私 行ってきます。
父 行ってらっしゃい。

父、はける。

中学生の制服に身を包んだ私が舞台上をフラフラと歩いている。
舞台中央あたりに着いたとき、客席から突然大きな叫び声が聞こえてくる。

ミク あー！

その声に驚き、歩みを止める私。

大声とともにミクが客席から現れる。

ミク わたしいー！

私 ！

ミク やっぱり、私だ！

私 え？

ミク ほらほら、私だよ、私！

私 誰？

ミク だーかーらー、私だって！

私 すいません、ちよっと…。

興奮する私の話を遮って上手に立ち去ろうとする私。
上手からも突然大きな叫び声が聞こえてくる。

オタク あー！

私 なに？

その声に驚き、歩みを止める私。

大声とともに別の私が上手から現れる。

オタク わたしいー！

私 ！

オタク 自己紹介！

私 は？

オタク 自己紹介で高校生活のすべてが決まるからね。

私 は？

戸惑う私を尻目に再び大きな叫び声が聞こえてくる。

応援団 あー！ー！ー！ー！！！！

私 なに!!!!!!

大声とともに別の私がどこから現れる。

応援団 わたしいー!

私 !

応援団 ほら、元気出して!

私 は?

応援団 大きい声出すと気持ちいいよ。

私 は?

戸惑う私を尻目に舞台全体から突然大きな叫び声が聞こえてくる。

全員 あー!!!!!!

叫び声と同時に緞帳が上がり、舞台奥や客席などいたるところから別の私がたくさん出てくる。
AKB48の「会いたかった」が流れてくる。

曲と同時に、私たちと男が一気に押し寄せてくる。

全員 (イントロのチャリンチャリンあたりで) わたしいー!

私 (「君に」が終わったあたりで) なんじゃこりゃー!

AKB48の「会いたかった」を全力で踊る高校生の私と男、戸惑い続ける私。

「自転車全力で」あたりから音楽のレベルを下げる。その間もミック以外は踊り続ける。
私が舞台上から去ろうとする。

ミック あ!ちよっと待って!

私 はい?

ミック びっくりした?

私 いや、あの。

ミック だよね。私もそうだったし。

私 ∴失礼します。

ミック ストーツプ!

去ろうとする私の行手を阻むミック。

私 もう、なんなんですか?

ミック 懐かしいなあ、そのリアクション。

私 は?

ミック 私もそうだったなあ。

私。はあ。
ミク。びっくりした？
私。え、なにこれ？夢？
ミク。うーん、どうでしょ。
私。え、ホントに何なんですか？
ミク。私たちはね、未来からやってきたの！
私。…は？
ミク。ほら、よく見て。顔、似てる気しない？
私。いや。いやいやいやいや。
ミク。まあ、信じられないのも無理ないよね。
私。なにその、夢見る中学生が考えそうなクソみたいな設定。
ミク。信じるものは救われるよー。
私。もう帰っていいですか？
ミク。なにか悩んでいるんでしょう？
私。え？
ミク。顔に書いてあるよ。
私。別に…。
ミク。隠したって無駄だよー。同じ私なんだしー。バレバレだよー。
私。…。
ミク。私にもそんな時期あったなあ。
私。…。
ミク。ぼんやりした不安を解消してあげるよ。悩みを抱えながら生きるのもしんどいだけだよ。
私。…。
ミク。ね？そのために未来からやってきたんだし。
私。…。
ミク。ね？
私。…。

「会いたかった、君にー」で曲が終わわり、私たちは平台の上にイスを置いて座っている。
男は踊り終わったら、後ろのほうにひっそりという。
様々な私が一同に介し、なんとなく嬉しそうな私。

私。…で？
ミク。私たち…。
全員。未来から来た私48（フォーティーエイト）です！
私。…え？
ミク。だ・か・らあ。私たち…。
全員。未来から来た私48（フォーティーエイト）です！！

掛け声が揃いテンションが上がる私とどこから突っ込めばいいのか思索する私。

バスケット これやってみたかったんだよね。
リア充 私も私も。

バイト 練習なしでも揃うもんだね。

調理 同じ私だからねえ。

私 やっぱ、帰っていいですか？

私、舞台からはけようとする。

ミク 前田ミク！

私 ！

応援団 2010年3月9日生まれ。

バイト O型。

マネ 性格は優柔不断。

スラ 内弁慶。

失恋3 マイナス思考

オタク 厨二病。

調理 好きな食べ物は。

全員 オムライス。

賢い 子どもか！

失恋1 初恋は小学校3年生のとき。

全員 隣の席の長谷川くん。

失恋2 バレンタインにチョコをあげるけど玉砕。

失恋3 彼氏いない歴Ⅱ。

全員 年齢。

私しか知らないような情報をぼんぼんと言ってくる。

私 ストップストップストップ！なんで知ってるの？

マネ 今の悩みは。

私 ！

悪い 4月からの高校生活。

一軍 友達できるかな。

普通 勉強ついていけるかな。

リア充 彼氏できるかな。

バスケット 部活どうしようかな。

全員 かなかなかかなかな…。

ミク そんな「ぼんやりした不安」。

私 …。

ミク どう？信じてくれた？

私 …未来からきた私…？

全員 48（フォーティエイト）です！

私 : 頭クラクラしてきた。

ミック 大丈夫？風邪？

一軍 あ、あれじゃない？

賢い コロナ？

悪い うわあ、懐かしー。

普通 大変だったよね。

リア充 ねー。

失恋2 それが今では…。

私 え、どうなってんの？

全員 ひみっ！。

私 ハア！？

ミック 信じるか信じないかは、私次第ということ。

私、未来の私たちをジロジロ見る。

私 : わかった。百歩譲ってあなたたちが本当に未来から来たとしよう。

ミック おお！

私 これが私の夢だって可能性もあるわけだし。その無茶な設定にもなるよ。

ミック さすが、私。

私 でもさあ。

ミック なに？

私 みんな、全然顔違くない？

みんなでお互いの顔を見合わせる。

全員 ホントだ！

私 バカばっかか！

悪い バカって言ったほうがバカなんですー。

調理 そうだそうだー。

私 子どもか！

ミック なんていうの、成長？

私 成長？そんなん顔の形まで変わる？

ミック そうなんじゃない？

私 で、千歩譲って顔の形は成長で変わったとしてもだよ。

ミック うん。

私 48（フォーティエイト）とか言って、全然人数足りないし。

ミック そんなことないってえ。番号！

端から順に番号を言っていく。

文化祭 私の言う通り、人数が足りません！

ミック やむなし！

全員 うえーい。

私 で、一万歩譲って人数も目をつぶるとしてもだよ。

私、背の高い私と背の低い私を前の方に連れて来る。

私 これはなくない？

ミック なにが？

私 背、全然違うじゃん。

ミック 遠近法？

私 そんなわけないでしょ！ほら、これ。おっきい！で、ちっさい！おかしくない？

悪・失2 たしかに。

ミック ま、人生何が起こるかわからないということ。

私 で、一億歩譲って身長も目をつぶるとしてもだよ。

私、男に目をやる。

私 性別変わってんじゃない！はい、自己紹介！

男 えっと、秋本タカシです。一応、ミックちゃんの（彼氏です）

ミック だめええええ！

男 ！

ミック 特別ゲストにはもうちょっとあとで活躍してもらいましょう。

私 は？

ミック これ（ぼってんがついたマスク）でもつけて、後ろの方で静かにしてもらえますか？

男 あ、はい。

私 従うのかよ！

男、マスクをつけて大人しくしている。

ミック はい、というわけで、話を進めていきましょう。

私 はあ。

私、悩みを相談しようと言った瞬間に。

オタク はいはいはいはい。

私 ！

オタク 篠原高校に進むんだよね。

私 え、はい。

オタク 自己紹介大事だからね。

私 え？

オタク 自己紹介で一発かましてやろうとか思うと、そのあとマジで大変だから。

篠原高校に入学した私、入学式が終わってクラスで自己紹介をしているようだ。

担任 はい、じゃあ次の人。

一軍 岸田中学校から来ました、前田ミクです。中学ではテニス部に入っていました。高校ではまだ何部に入るか決めていません。人と話すのは好きですが、自分から話しかけるのは苦手なので、話しかけてほしいです。(緊張した面持ちで)：趣味はK-POPを聞くことで、最近は three times のバナナちゃんをめっちゃ推しています。K-POP好きな人は仲良くしてください。一年間よろしくお願いします。

担任 はい、拍手ー。

拍手。

担任 はい、じゃあ次の人。

オタク 岸田中学校から来ました、前田ミクです。中学ではテニス部に入っていました。高校ではまだ何部に入るか決めていません。人と話すのは好きですが、自分から話しかけるのは苦手なので、話しかけてほしいです。(大きな深呼吸をして、オタク特有の早口で)：新選組が好きで、特に好きなのは土方歳三様です。『燃えよ剣』に出てくる土方歳三様を見て、そのひたむきな姿に惹かれました。『ゴールデンカムイ』に出てくる土方歳三様も好きです。洋装に刀とかめっちゃ憧れます。だからといって、アンチ尊王攘夷派ではなく、桂小五郎さんも好きです。七三分けが大好物です。基本的には幕末オタクです。幕末のいいところは、それぞれの登場人物が自分の信念と命をかけて戦っているところだと思います。私も幕末にタイムスリップして坂本龍馬さんと一緒に「日本の夜明けぜよ」って言ってみたいです。まあ、実際には言っていないみたいなんですけど。ははは。というわけで、一年間よろしくお願いします。

担任 …はい、拍手。

喝いた拍手。

担任 じゃあ、このメンバーで一年間頑張っていきましょう。よろしくお願いします。

全員 よろしくお願いします。

オタク 自己紹介以来、なぜか私の周りにはオタクっぽい感じの子ばかり集まり…。クラスの一軍女子とも距離をとり、教室の隅っこで大人しく過ごすことになりました。

ミク 自業自得乙。

文化祭 自己紹介、難しいよねえ。

普通 ねー。

賢い 自己紹介の最適解を教えてくださいわ。

スラ　ほんとほんと。

失恋3　結局、何を言っても黒歴史になる気がする。

調理　わかるー。

オタク　まじで自己紹介は鬼門。

バイト　でも、友達できてるからよくね？

オタク　結果的には？

失恋2　私も一軍女子の友達欲しかったあ。

一軍　いや、でも、これはこれで大変だったよ。

リア充　なにが？

一軍　だって、行事のたびにTikTok撮ってたからね。

バスケ　あー、いたいた。

失恋1　球技大会の合間に廊下で撮ってるやつ。

オヤジ　あの後ろを「あ、さーせん！」みたいな感じで通るときの気まずさ。

普通　一軍女子の私は言うことが違いますなあ。

オタク　え、ちよつと待って。そしたら、自己紹介で地雷踏まなかったら、私も教室の真ん中で

誰かの机を借りてお昼ご飯とか食べれてたわけ？

悪い　いや、あんたは無理でしょ。

オタク　同じ私なんだから、可能性くらいはあったでしょ。

全員　ないない。

オタク　というわけで、気をつけてね。

私　はあ。

ミク　どう？悩みは解決した？

私　全然。

ミク　ですよねー。あ、じゃあ、何に悩んでいる感じ？

私　えっと…。

ミク　部活？

私　部活…、も、そうかも。

ミク　何部に入るつもりなの？

私　いや、まだ、考え中。

ミク　テニスは？

私　テニスは、別に、いいかなあって。

ミク　あー、そんなこと言ったら、テニス部の私が泣くよ。

私　え?!

ミク　テニス部の私いー。

誰も返事をしない。

私　いないんかい！

ミク　みんなテニス部には入らなかったんだ。

マネ　せっかくなら新しいこと始めたかったし。

一軍 てか、中学でもレギュラーになれなかったんだから、高校でやってもねえ。
応援団 篠高って、テニス部それなりに強いし。

賢い コート4面あるしね。

調理 へー。

賢い へーって、体育でやったでしょ？

調理 いや、私、選択しなかったし。

バスケ そうなんだ。

私 あのー、部活動の話は…？

ミク 部活ね、部活。みんなは部活どうやって決めたの？

マネ 私はねえ…。

友達がジャージ姿の私に話しかけてくる。

友達 ねえねえ、部活何にするか決めた？

マネ まだ。

友達 私さあ、高校入ったら運動部のマネージャーやりたいなあって思ってたの。

マネ そうなんだ。

友達 だからさ、一緒にマネージャーやらない？

マネ えー？

友達 一人だと不安だからさ。

マネ 私、アルバイトしようかなあと思って。

友達 えー。

マネ ほら、うちお父さんと二人暮らしだし。

友達 それを言われたらなあ。

マネ ごめんね。

友達 じゃあ、説明会一緒に行ってくれない？話聞くだけ聞いて、入らなければいいだけだし。

マネ うーん。

友達 ね。お願い。

マネ 何部の？

友達 野球部。

マネ 野球部？

友達 私、弟が野球やってて少し知ってるから。

マネ 私なんか、お父さんとキャッチボールくらいしかやったことないよ。

友達 大丈夫大丈夫。ルールも教えてもらえるって。

マネ まあ、説明会行くだけなら。

友達 よしっ、じゃあ、レッツゴー。

友達に手を引っ張られながら説明会に移動する私。

その後からバスケットボールのユニフォーム姿の私がニュッと出てくる。
顧問の先生が声をかける。

顧問 あ、ちょっと待って！
バスケ はい。
顧問 前田、中学のとき運動部だったよね。
バスケ そうですけど。
友達 先に行ってるね。
バスケ うん。
顧問 部活決めた？
バスケ いや、まだ。
顧問 あれ、でも、どこか行く予定だった？
バスケ 一応、野球部に。
顧問 野球部かあ。
バスケ え？
顧問 野球部かあ。
バスケ マネージャー一緒にやろうって誘われたので。
顧問 マネージャーかあ。
バスケ はい。
顧問 マネージャーかあ。
バスケ ……はい。
二人 ……
バスケ じゃあ、失礼します。
顧問 ちょっと待って！
バスケ はい。
顧問 バスケボール興味ない？
バスケ え？
顧問 私、バスケ部の顧問なだけだし。ウチのバスケ部、部員が4人しかいなくて。
バスケ はあ。
顧問 今日が仮入部最終日だけど、全然見学来なくて。このままだと最後の大会に出られないんだよね。前田、身長何cm？
バスケ 170cmくらいです。
顧問 バスケボールやってみない？
バスケ 私、バスケボールなんか体育の授業くらいでしかやったことないですよ。
顧問 大丈夫大丈夫、今の部員も高校から始めた子が多いから。
バスケ いや、でも、私、そもそもアルバイトを。
顧問 お願い！体験だけでもいいから。
バスケ いや、その…。
顧問 一回やってみて楽しくなかったら辞めてもいいから。
バスケ あ、いや、その…。
顧問 アルバイトも大丈夫だし。
バスケ えっと…。

顧問　お願い！
バスケ　：じゃあ、体験だけでいいなら。
顧問　ホント！ありがとう！じゃあ、さっそく体育館行こうか。着替え持ってる？
バスケ　あ、はい。
顧問　体育館で待ってるから！
バスケ　あ、でも、野球部…。強引すぎる…。

私、野球部の説明会に若干の未練を残しつつ、逆側に歩き出す。

私　え、じゃあ、結局？

マネ　なぜか、そのまま野球部のマネージャーになりました。

バスケ　なぜか、そのままバスケットボール部に入りました。

ミク　主体性低いな。

私　その辺は高校に入っても変わらないんだ。

マネ　まあね。

おやじ　え、なに、今の洒落？マネージャーだけに。

間。

私　バイトはしなくても大丈夫だったんですか？

おやじ　無視すな。

マネ　私はお父さんに相談したから。

バスケ　私はバイトもやってたよ。

マネ　何やってたの？

バスケ　近所の100均。

一軍　あそこキツくなかった？

バスケ　そうでもないかな。

バイト　いいなあ。

バスケ　え、そっちは？

バイト　私はドラッグストア。

文化祭　きつかった？

バイト　超絶ブラック。無理だって言ってるのに、シフト入れられたし。

失恋1　うわー。

バイト　しかも試験前もだよ。

バスケ　辞めれば良かったじゃん。

バイト　そう簡単に辞められないからブラックだったんだよ！

スラ　たしかに。

バイト　三年間働いたわりには最低賃金から抜け出せなかったし。

失恋3　きつー。

バイト　あー、もう、思い出しただけでむかついてきた。

おやじ ほら、私の胸に飛び込んできな？！

バイト うざっ。

おやじ しゅん。

ミク あと、部活入ってたよっていう人は？

オタク 歴史研究部！。

失恋2 茶道部！。

スラ 女子サッカー部。

応援団 応援団！

全員 応援団？！

私 振れ幅広っ。

文化祭 帰宅部！。

ミク 帰宅部は部活じゃありません。

文化祭 帰宅部のエースでした。

悪い ぼっちなだけだろー。

文化祭 いや、友達いたし。

私 え、なんで応援団に？

応援団 押忍！

私 …、いや、その、なんで応援団に入ったんですか？

応援団 押忍！押忍！

全員 …。

私 誰か、「ほんやくこんにやく」(ドラえものの道具)持っていないませんか？

応援団 ごめんごめん！話すから。

私 普通にしゃべれるじゃん。

応援団 キャラ守った方がいいかと思って。

私 そういふのいいいで。

普通 (応援団に向かって)なんで？

応援団 これにはふかーいわけがあつて。

応援団にサスがつく。

息を呑む一同。

応援団 私が…、応援団に…、入った理由は…。

全員 …！！

応援団 学ランがかっこよかったから。

一呼吸置いた後、照明が戻り、全員がずっこける。

全員 ブコー！

応援団 えー、ダメかなあ。

ミク 浅っ！

オタク いや、コスプレという観点でいえば、わからなくない。
応援団 でしょ。
オタク うん。

熱い握手をかわす二人。

リア充 応援団って普段どんな練習してるの？

バスケ あ、気になるかも。

オタク やっぱり、発声練習とかしてるの？

応援団 まあね。

一軍 声デカいもんね。

応援団 あとは、筋トレと走り込みかな。

調理 ガチガチの運動部なんだね。

応援団 そうだよ。

失恋2 私も今度なんかあったら応援してよ。

応援団 いいよ。

バイト やっぱり私も部活入っておけば良かったかなあ。

バスケ 部活は部活で大変だったけどね。

スラ 練習バカ多かったし。

マネ 人間関係が闇だよな。

バスケ わかるー。

スラ 最後の大会で負けたときは泣いちちゃったけどね。

バイト うわー、青春してるー。

賢い 私は、勉強しなかったから、結局どこにも入らなかったよ。

私 へー。

普通 え、成績は？

賢い 評定4.9。

ミク やばっ。

悪い 私なんか、∞だったし。

ミク やばっ(笑)。

悪い いいんだよ、学校楽しかったし。

私 何が楽しかったんですか？

悪い え？私、行事ガチ勢だったよ。

文化祭 私もー。

オタク ま？

悪い だって、やるからには真剣にやらなきゃだめっしょ。

文化祭 ね。

悪い そんななかでも一番楽しかったのは、体育祭かな。

全員 体育祭い!?!?!?

文化祭 いや、一番楽しかったのは、文化祭でしょ。

全員 文化祭い!?!?!

悪い 体育祭だって。

文化祭 文化祭だって。

悪い 体育祭!

文化祭 文化祭!

悪い 体育祭!!

文化祭 文化祭!!

失恋1 どっちでもいいよ。

悪・文 よくない!

悪い よーし、じゃあ、どっちの行事が楽しいか多数決とろう。

文化祭 望むところよ。

悪い (客席に向かって) 体育祭のほうが楽しいと思う人ー?

何人か手を挙げる。

文化祭 (客席に向かって) 文化祭のほうが楽しいと思う人ー?

何人か手を挙げる。

オタク (客席に向かって) 体育祭は、運動が苦手だから全員参加の競技は足を引つ張らない程度に頑張るけど、結局はなるべく日陰で友達と過ごしたし、文化祭は、クラスと部活と委員会のシフトが入って全然回れなくて、しかも会計報告してたら後夜祭に参加するタイミング逸したよ、って人ー?

誰も手を挙げない?

悪・文 どんまい。

オタク (泣)

ミック えー、なんとなく残念な雰囲気になってしまいましたので、ここで、あの人に話を聞いてみましょう。

私 え、だれ?

ざわつく私たち。

ミック どうぞー。

男 (マスクをとる) ふはあ。

悪い 忘れてた。

失恋1 そういや、いたわ。

ミック お待たせしました。

男 あ、どうも。

ミク　じゃあ、改めて自己紹介をお願いします。
男　はい、秋本タカシです。

間。

応援団　そんだけかよ。

一軍　もうちょっとなんか言えよ。

調理　そうだそうだ。

男　え、これ言っちゃってもいいんですか？

ミク　どうぞ。

男　えっと、ミクちゃんの彼氏です。

全員　えー！！！！！！！！！！

自分の身に覚えのない「彼氏」という単語を聞き、動物園のように興奮する私。

失恋2　彼氏！！

バイト　マジ？！

マネ　誰の？誰の？

失恋3　私も欲しい！

一軍　え、ちょっと待って。当てよ、当てよ。

とにかく興奮している私。

ミク　ストップストップ！落ち着いてくださいーい、モテない私たち。

一軍　お前もだろー。

ミク　正解発表するまえに、私の彼氏に色々聞いてみましょう。

悪い　お前のじゃないだろー。

ミク　ずばり、私のどこが好きなの？

男　やっぱ、なにごとにも一生懸命取り組むところですかね。その様子をみると、こっちも元氣もらえるというか。

全員　でへへへへへ。

男　あと、笑った顔がかわいいというか。

全員　デュフフフフフフフフ。

全員の私が一斉にてれる。

調理　なんか悪い気しないねえ。

バスケ　まあ、同じ私だし。

賢い　これは実質、私が褒められているようなもんでしょ。

一軍　もっとノロケ話聞かせてもらいたいわあ。

スラ いつから付き合ってるんですか？

男 高2の秋？

全員 うえーい。

応援団 え、え、きつかけは？

男 修学旅行…。

全員 修学旅行！？

おやじ 甘えー、甘酸っぺえー。

失恋1 はいはいはいはいはい、ありますあります。修学旅行のエピソード。

ミク あ、じゃあ、どうぞ。

失恋1 修学旅行は3泊4日で大阪に行つて…。

大阪の道頓堀。

どうやら班別自主行動ではぐれてしまったらしい。

男 あれー、みんなどこ行つたんだよ。

失恋1 だめ、電話も出ない。

男 え、なんで？

失恋1 たこ焼き屋に並んでたときはいたよね？

男 いた。

失恋1 はぐれちゃったのかな。

男 どうすつかなあ。

間。

失恋1 私は…。

男 ん？

失恋1 私は、このままでもいいよ。

男 マジで？

失恋1 うん。

男 いいの？ミナミとかユキとかと一緒にじゃなくて。

失恋1 うん。だって…。

男 …。

失恋1 私…、サトシのことが…、ずっと前から好きでした！付き合ってください！

永遠とも思える間。

男 ごめん…。

失恋1 …！！！！！！！！

夜のロビーに用があつて、たまたま会つた私とヒロシ。

失恋2 あ、ヒロシ!

男 うわっ!!!

失恋2 え?どうしたの?

男 しーっ!消灯時間過ぎに部屋出てるのバレたら特別指導。

失恋2 あ。

男、周りを見渡す。

男 ふー。

失恋2 ふふっ。

男 どうしたんだよ?

失恋2 眠れなくて。ヒロシは?

男 俺も。

失恋2 そっか…。一緒だね。

男 だな。

甘酸っぱい空気が漂う。

男 あっでさー。隣のクラスで、カップルできたの知ってる?

失恋2 2組のやつ?あれっ誰?

男 ユウとリノ。

失恋2 あー。リノちゃん美人だし、それに2人とも仲良かったしね。

男 いいよなあ。俺もあんな青春してみてーわ。

失恋2 …じゃあ私と、してみない?

男 え?

失恋2 私…、ヒロシのことが…、ずっと前から好きでした!付き合ってください!

永遠とも思える間。

男 ごめん…。

私 …!!!…!!!…!!!

ジェットコースターに乗るマサシと私。

係員 安全バー確認しまーす。

失恋3 楽しみだね。

男 …。

失恋3 え?大丈夫?汗びっしょりなんだけど。

男 いや、まじ、こういうの超苦手。

失恋3 なんでも乗ろうって言ったの？

男 ミクちゃん、好きだって言ってたから。

失恋3 そ、そんな無理しなくていいのに。

男 オレもミクちゃんといると楽しいし。

失恋3 え…。

高度がどんどん上がっていく。

失恋3 けっこう高いね。

男 うわー、やばいやばい。

失恋3 ドキドキしてきた。

男 あー、やばいやばいやばいやばい。

失恋3 マサシ…。

男 なに？

失恋3 私…、マサシのことが…、ずっと前から好きでした！付き合ってください！

男 え？なに？

失恋3 私！マサシのことが！ずっと前から好きでした！！付き合ってください！！

永遠とも思える間。

男 ごめん…。

私 !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

二人を乗せたジェットコースターが激しく動く。

私 全員ふられてんじゃん！いつ彼氏できるの？！

そこにいるすべての私が怒り狂って、男に対する罵詈雑言を叫んでいる。次第に大きさに泣き始める。

ミク はいはい、泣かないでくださいーい。つらい思い出もいつの日にかいい思い出になりますよー。

失恋1 立派だったぞ、私！

失恋2 よく頑張った、私！

失恋3 私最高！

おやじ 彼氏がなんぼのもんじゃい！

マネ たこ焼き美味しかった！

バイト 串カツ美味しかった！

普通 堂島ロール美味しかった！

バスケ りくろーおじさん美味しかった！

私 ホントに彼氏ですか？

男 あ、はい。

失恋2 うそつけー。

失恋3 こちとら彼氏いない歴〓年齢だぞー。

文化祭 そうだそうだー。

私 え、じゃあどのタイミングで？

男 帰り道ですね。

失恋1 そこかあ！

男 全部終わって「疲れたね」ってタイミングで。

悪い それおかしくね？

男 でも、その変わったところが良かったというか、なんというか。

失恋3 くやしー。

失恋2 私も彼氏ほしー。

賢い 待つて待つて、そうすると、この中に彼氏がいる私がいるってことでしょ？

オタク 誰？

バスケ 正直に言って！

おやじ 先生怒らないから！

賢い よし、じゃあ、みんな前来て。一列に並んで。

全員 はい。

横一列に並ぶ私達。

バイト タカシ！

男 はい。

バイト 彼女だっっていう私の肩叩いて。

男 あ、はい。

一軍 うおー、ドキドキするー。

失恋1 ワンチャンあるよ、これ。

応援団 ばっちこーい。

男、横一列に並んだ私の後ろをウロウロしてから、私の肩をたたく。肩をたたかれた私が恐る恐る手を挙げる。

リア充 私です。

悪い 犯人確保ー！

リア充 うぎゃー。

もみくちゃにされた結果、胴上げされる彼氏がいる私。

全員 わっしょい、わっしょい！

普通 おめでとー。
バスケ 私、最高！
マネ 私、素敵！
リア充 ありがとう！

一致団結する私たち。

全員 いえーい。

みんな自分の席に戻る。

私・男 え？

ミク なんか、もう、満足したみたいですよ。

男 え？

ミク 結局同じ私なんで、最終的には否定しないで理解できる（笑）、みたいな。

男 あ、そうですね。えっと、ボクはどうすれば？

リア充 大きい声出したらお腹すいたから、何か買ってきてー。

男 ながいいですか？

リア充 そこは、タカシチョイスで。

男 あ、わかりました。

リア充 じゃ、よろしくー。

男 行ってきます。

男、舞台上からいなくなる。

ミク どう？明るい未来が見えてきた？

調理 いやいや、これじゃまだでしょ。

ミク ですよねー。

スラ え、あとなに？

普通 進路じゃね？

マネ あー、たしかに。

私 私まだ高校にも入学してないんですけど。

普通 いやー、それがさあ、入学してすぐに進路の話されるからね。

リア充 ねー。一年の担任、キクリンだった人ー。

全員手を挙げる。

失恋2 二年の担任、キクリンだった人ー。

全員手を挙げる。

調理 三年の担任、キクリンだった人！

全員手を挙げる。

オタク どうあがいてもキクリンから逃れることができない世界線。

ミク ワロタ。

賢い じゃあ、進路のことについて教えてあげるね。

普通 私も。

悪い 私もー。

ミク え？大丈夫なの？

悪い 大丈夫大丈夫。

担任の先生と面談をしている私。集団面接みたいな感じ？

担任 えーっと、前田さんは大学進学だっけ？

普通 はい。

賢い はい！

悪い はい。

担任 文系？理系？

普通 文系です。

賢い 理系です。

悪い なんすかそれ？

担任 なにか将来やりたいことあるの？

普通 いや、あんまり具体的にはないんですけど…。

賢い 建築学を学べる学校に行きたいと考えています！

悪い てか、私の成績で行ける大学あるんすか？

担任 成績はどんなもんだっけ？

普通 評定平均だと3.7くらいです。

賢い 評定平均だと4.9くらいです。

悪い 評定平均だと2.8くらいです。

担任 指定校？

普通 行ければ。

賢い 公募制で行こうと思います。

悪い きついつしょ。

担任 オープンキャンパスは？

普通 来週行く予定です。

賢い この前、体験授業受けてきました。

悪い 4月の遠足で一緒に行ったじゃん、赤い門のところ。

担任 まあ、自分の人生だし悔いのないようにね。

普通 はい。
賢い はい！
悪い はい。
担任 あと、保護者の人ともちゃんと話し合っておきなよ。
三人 父と確認しておきます。
担任 よろしく。あと、なんか聞いておきたいことある？
三人 いや、特にはないです。
担任 夏休み入るくらいには、希望固めておきなよ。
三人 はい。

面談終わる。

三人 はあ。
普通 勉強しなきゃなあ。
賢い 推薦だめだったら一般かあ。
悪い そもそも私の成績で指定校とれるん？
三人 はあ。
全員 もっと勉強しておけばよかったあ！
失恋2 無事進路は決まったから良かったけど。
私 同じ私なのに、けっこう頭の出来が違う…。
スラ 周りの環境？
賢い ね、遺伝子は一緒なのに。
悪い ふっしぎー。
リア充 私は第一志望落ちちゃったけどね。
全員 どんまい。
リア充 彼氏と一緒にの大学だから、そこはまあ、いいかなあと。
全員 どんまい取り消し。
マネ この先どうなるんだろうね。
普通 ね、大学緊張するよね。
調理 私、専門だよ。
ミク 専門（笑）。
リア充 あ、そうなの？
調理 うん、調理関係の道に進もうと思って。
リア充 へー。
応援団 私なんか、卵焼きすらうまく作れないのに。
失恋2 人生いろいろだねえ。
一軍 4月からの新生活緊張するなあ。
バイト だね。
賢い これより先の私は来てないのかな。
文化祭 ちよっと探してくる。

何人かの私をはけていく。そして戻って来る。
徐々に舞台後ろ側（未来の私たちが座っている平台あたり）が暗くなっていく。

スラ いないわ。

賢い やっぱり。

失恋3 ま、しょうがないよね。

リア充 ここで子育てしている私とかが出てきたら面白かったのに。

普通 だよね。

応援団 ここから先のことは自分の目で確かめてくれ！的なことなのかな。

オタク なにその昔の安い攻略本みたいな終わり方。

失恋1 結婚とかするのかなあ。

リア充 その前に相手見つけなきゃダメでしょ。

失恋2 大学では彼氏できるといいなあ。

バスケ みんな結婚したい派？

バイト 私はどっちでもいいかなあ。

スラ 結婚はしたいけど、子どもはいいかな。

マネ 私は逆、子どもは欲しいけど、結婚はそこまで。

賢い 今の時代、そういうのも珍しくないかもしれないしね。

失恋3 うちもお父さんだけだし。

バイト いや、でも、うちはお母さんが早くに亡くなっただけでしょ。

マネ まあね。

一軍 仕事は？

文化祭 するでしょ。

調理 それこそ今の時代、専業主婦だけだと厳しいでしょ。

一軍 ですよねー。

バイト ブラック企業とかだったら嫌だなあ。

私たちが未来のことについてあれこれと話している。

その様子をぼんやりと眺めている私。

そこにミックがおもむろに近づいていく。

周りの風景が消えていく。

ミック どうしたの？ぼんやりしちゃって？

私 えっと…、けっこう高校生活楽しそうだなあと思って。

ミック へー。あれで？

私 なんか、いろいろなことに挑戦しているっていうか。応援団に入るなんて、今の私からは想像もできなくて。

ミック たしかに。

私 彼氏もできるみたいだし。

ミク でもさあ、あんだけいて一人しか彼氏いないんだから、相当珍しいパターンじゃない。
私 そうかも。
ミク ま、人生いろいろってことだよ。

間。

私 そういえば…。

ミク (私の言葉を遮るように) あのさあ。

私 あ、はい。

ミク 本当にあんな高校生活送れると思った？

私 あんな感じになればいいなあとは…。

ミク なんて？

私 え？

ミク だってさあ、思い返してみてもよ。中学のときだって、たいして目立った訳じゃないし。友達が多かった訳じゃないし。勉強だって取り立てて良くできた訳じゃないし。それが、高校に入って急に人間変わったりするもののかな？

私 …。

ミク 自分のレベルよりも少し背伸びした学校に入ってきた。楽しみな反面、何が起こるか不安で仕方ないんですよ。周りについていけるか心配なんですしよ。

私 …。

ミク お父さんも期待してたしね。ほんとにその期待に応えることできるの？中学の友達も全然いないし。あ、元からそんなにいなかったか。不安で不安で押し潰されそうになってさ。自己紹介何言おうかなあとか。部活どうしようかなあとか。友達できるのかなあとか。行事は、授業は、成績は、進路は？

私 …。

ミク さっきの私たちは、それでも毎日それなりに楽しそうにしてたみたいだけど。

未来の私たち(マイナス)の声が徐々に聞こえてくる。

応援団 私は、学校に行けなくなった私。

失恋1 私は、パパ活をしている私。

マネ 私は、部活で怪我をした私。

一軍 私は、友達をいじめている私。

賢い 私は、志望校に落ちた私。

悪い 私は、ひとりぼっちの私。

ノイズのように私の声が聞こえてくる。

言いようのない不安が波のように押し寄せる。

ミク 結局、自分の都合のいいように想像しているだけなんだよね。未来なんて誰にもわから

ないのに。どうする？今よりもっと大変なことが起こったら？いじめられるかもしれないし、ぼっちになるかもしれないし、受験失敗するかもしれないし。いじめたり、怪我させたり、誰かを傷つけたり…。自分の存在が誰かの迷惑になることだってあるかもしれないし。

私 ……
でもね。それは些細な悩み。本当の悩みは別のところにある。

私 ……
ねえ、自分でも気づいているんでしょ？

私 ……
「私ってなんのために生まれてきたんだろう」「私の存在意義って何なんだろう」「私の生きる意味って何なんだろう」。

私 ……
「人は死ぬとどうなるんだろう」

私 ……
厨二病乙☆で済ませればいいけど。

私 ……
そうはいかないのが難しいところだよねえ。

私 ……
それがあなたの抱える「ぼんやりした不安」の正体。

私 ……
…なんであなたにわかるの？
そんなの決まってるじゃん。だって…。

未来の私の声も静まる。

二人 あなたは私だから。

私 そう。

間。

私 ……
こんなに苦しむんだったら、いつそのこと逃げ出しちゃえばいいのにな。

私 ……
逃げ出すって？

私 ……
簡単だよ。

私 ……
私、自分のつけているネクタイを差し出す。

私 ……
はい、これ。

私 ……
…これって。

私 ……
見てわからない？ネクタイ。

私 ……
それは分かるけど。

私 ……
カーテンレールだと上手くいかないからね。

私 え？

ミク ドアノブだったら簡単だから。

私 なんて…。

ミク だって…、ねえ…。

間。

私 でも。

ミク ん？

私 そんなふうにならないように、頑張れば…。

ミク 頑張っただうにかなる話なの？

私 だって、未来の私たちはあんなに楽しそうに。

ミク 楽しそうに見えたんだ、あれで。

私 …。

ミク 毎日「ぼんやりした不安」を抱えたまま生きている姿が、楽しそうに見えたんだ。

私 …。

ミク 馬鹿馬鹿しい。

私 …。

ミク あんな風にレッテル貼られて生きるくらいなら、死んだ方がまだよね。私だったら。

私 …。

ミク 頑張ったところで報われない人生なんだし。

私 …。

ミク 私はね、同じ私に苦しんでほしくないの。重くて辛い人生を送ってほしくないの。いろんなことに挑戦するけど、結局どれもこれも空回りし続ける人生なんてしんどいだけなの。

私 …。

ミク ね？私と一緒に逝こうよ。

私 …。

ミク これ。きつといつか必要になるから。

私、ミクから差し出されたネクタイを受け取る。

ミク 良かった。私と同じだ。

私 …。

ミク 会いたかった。

私 …。

ミク 私は、あなたの背中を押しに来たの。大丈夫、私は、私だけはあなたの味方だから。

私 あなたはいつたい…？

ミク 私？私は…。

私 …。

ミク 私を殺した私。

その瞬間、舞台奥のホリゾン트에高校3年生の私の写真が遺影として浮かび上がる。お葬式を想起させるような音が鳴り響く。金縛りにあったような私。

不穏な雰囲気グロウを迎えるあたりで、世界で一番能天気な男が帰ってくる。

男 ただいま戻りましたあ。うわっ、暗っ。電気つけますよ。

明るくなる。

その瞬間、他の私達も動き出す。

リア充 おかえり。

男 お疲れ様です。

リア充 ちゃんと買ってきた？

男 はい。前好きだっって言ってたピザポテト買ってきました。あと、アルフォートとばかうけ。

リア充 いいチョイスじゃん。

男 ありがとうございます。

応援団 飲み物は？

男 あ…。

応援団 なんだよなんだよ、使えねーな！。

失恋2 こちとら未来の話しすぎて喉からなんだよ。

オタク 年金生活突入してっぞ。

おやじ 孫も6人産まれてっぞ。

男 でも、この人数だとペットボトル本くらい必要だし。

普通 たしかに。

リア充 私の彼氏いじめるのその辺にしといてくれない？

文化祭 ごめんで。

男、買ってきたおやつをみんなに配る。

少し輪から離れた私とミクにも渡す。

男 はい、どうぞ。

私 ありがとうございます。

男 中学生のミクちゃん？

私 はい。

男 当たり前だけど似てるよね。

私 そうですか。

失恋3 おい、ナンパしてるぞアイツ。

バスケ やめるやめろー。
おやじ ばかうけ、うまー。

男 そっちのミクちゃんも良かったら。

ミク ……どうも。

男 雰囲気違うね。

ミク そう？

男 うん。

失恋1 おい、またナンパしてるぞアイツ。

失恋2 別れた方がいいんじゃない？

リア充 大丈夫大丈夫。特に何も考えてないから。

おやじ アルフォートうまー。

一軍 (私に向かって) あれ、そのネクタイどうしたの？

私 あ、これは…。

ミク それはねえ、私があげたの。

スラ へー。

バイト 自分へのプレゼントってこと？

悪い エモくね？

一軍 エモーい。

ミク 私には、もう必要ないから。

バスケ それ言ったら私たちもじゃない？

普通 あ、私のもいる？

私 大丈夫です。

普通 ですよねー。

調理 そういえば、(ミクに向かって) あなたの進路は？

ミク 私？

調理 うん。さつきもさ、これからの話で盛り上がったから。

ミク 私は…、別に…。

間。

失恋3 (小声中) これって…。

オタク (小声中) 地雷踏んじやった感じ？

失恋3 (小声中) だよね。

調理 あ、なんか、ごめんね。

文化祭 大丈夫だよ、私のクラスでも浪人したっていう人たくさんいたし。

バスケ ほら、キクリンだって浪人したって言ってたしね。

一軍 言ってた言ってた。

バイト ね、だから、浪人しても大丈夫だから。

ミク ありがとう。

オタク 高校生活はどうだったの？

ミク 高校？
マネ ほら、何部に入ってたとか、行事ガチ勢だったとか。
ミク ハンド部だったよ。
普通 へー。
一軍 うちの学校、ハンド部頑張ってたもんね。
マネ 楽しかった？
ミク …別に。
バスケ えー、部活楽しかったよ。
失恋1 さっきは大変だと言ってたじゃん。
バスケ 練習はね。でも、思い返してみたら、いろんなことに挑戦して楽しかったなあって。
マネ 私も、「部員を甲子園に連れていくぞ！」って張り切ってた。
賢い 神奈川じゃ無理でしょ。
マネ それを言ったらそうだけどさあ。
リア充 まあまあ、なにことも希望をもつことは大事というか。
応援団 部活命だったから、引退したあとは慣れるまで時間かかったよね。
マネ わかるー。
文化祭 うちの学校、演劇部強かったじゃん。
失恋2 最後まで引退しなかったやつでしょ。
おやじ 「祝・全国大会出場！」って垂れ幕まで飾っちゃってさ。
スラ 羨ましかったなあ。
普通 ねえ。
文化祭 アレ見たら、全然部活やってなかったけど、すごいなあって思ったもんね。
バイト (ミクに向かって) バイトは？
ミク 駅前の居酒屋。
失恋3 へー。
おやじ なんで？
ミク 別に理由はないよ。
バイト そうだよ、バイト選びなんて、所詮は遊ぶ金欲しさだよ。
オタク 犯行動機のやーつ。
リア充 ホール？キッチン？
ミク 両方やってた。人少なかったから。
応援団 ブラックだね。
スラ 料理上手になった？
ミク 少しは。
調理 ちよつとずつ作れるものが増えるのって、楽しいよね。
悪い そうなんだ。
調理 お父さんには作ってあげた？
ミク たまに。
調理 お父さん、なんでも美味しいって言って食べてくれるからね。
ミク そうだね。

普通 それで調理系に？
調理 まあね。
一軍 えー、私も今度なんか作ってあげようかな。
調理 やってみなよ、ホントになんでも美味しいって言うってくれるから。(ミクに向かって)
ね？
ミク …。
文化祭 進路は大学？
ミク …一応ね。
おやじ もしかして理系の私？
ミク …文系。
リア充 ちよつと待って、理系って少数派？
失恋2 そうだね。
リア充 うわ、シヨック。
失恋1 なんで？カッコいいじゃん。
おやじ リケジョってやつ？
悪い それ、古くない？
おやじ 言ってる思った。
失恋3 一般だったの？
ミク 推薦。
普通 え？
ミク 受かってたけど…。
賢い もつたいない。
悪い 推薦って行かなくてもいいの？
応援団 入試もいろいろあるからね。
悪い へー。
文化祭 いや、キクリン説明してたじゃん。
悪い 関係ないと思って聞いてなかった。
スラ さすが、評定平均2点代。
悪い 私も高校生活忙しかったから。
失恋3 何してたの？
悪い 友達と遊んだ。
オタク どこで？
悪い 渋谷。
リア充 渋谷で何して遊ぶの？
悪い 友達と会って、フラフラして、そのままカラオケでオールしたり。
スラ そのままタバコも吸っちゃったりして。
悪い そうだね。
失恋1 …え、！
悪い 吸うでしょ、タバコくらい。
普通 いやいや、吸わないよ。

悪い うそー。

失恋2 吸わない吸わない。

応援団 タバコ吸ったことある人ー？

誰も手を挙げない。

応援団 ほらあ。

悪い おかしいなあ。

バスケット おかしいのはそっちだって。

賢い え、先生には（バレなかったの）？

悪い それがさあ、一回バレちゃってさ。

オタク えー。

失恋1 じゃあ、特別指導？

悪い うん。

マネ へー。

私 そうなのって、お父さんは？

悪い めちゃくちゃ怒られた。

リア充 お父さん、怒るの？

一軍 意外。

普通 怒るでしょ、普通。

悪い さすがに、申し訳ないなあって気持ちになった。

おやじ そりゃそうだ。

悪い そこからはもう吸ってないし、学校も真面目に出席したし。

普通 え、進路は？

悪い 髪の毛いじるの好きだったから、美容系。

失恋2 なんか分かる気がする。

調理 （二人に向かった）ごめんね。話ふっておきながら、結局、自分たちのことばかり話
しちやって。

私 あ、いえ。

文化祭 少しは未来に希望がもてた？

私 （ミクのことを気にしながら）ちよっと。

バスケット よかった。

マネ そういえば、聞いていなかったけど、あなたは未来から来たなんの私なの？

ミク 聞く？

賢い せっかくなら。

失恋3 同じ私なわけだし。

ミク 聞いて後悔しない？

一軍 しないでしょー。

ミク 私は…。

私 私を殺した私。

間。

リア充 え？

失恋2 ちょっと待ってよー。冗談はやめてよー。

さっきまでと同じようなテンションで突っ込むが、異様な雰囲気気づく。

失恋1 ちょっと。ねえ。ちょっと。

ミク なに？

バスケ どういうこと？

ミク そのままだよ。

賢い そのままって。

おやじ え、なにに？私、よくわかんないんだけど。

スラ なんてわかんないの？

おやじ え？え？

オタク え、なんで？

ミク なんてかなあ。疲れちゃったからかな。

バイト そんなことで。

失恋3 もしかしていじめられてたとか？

ミク 別に。

応援団 じゃあ、友達がいなかったとか？

ミク いたよ。

文化祭 進路？

失恋1 成績？

ミク 外れ。

失恋2 お父さんとの関係が悪かった？

ミク ……そんなことはない…。

一軍 え、じゃあ、なんで？

賢い 何もないからって、死んだりするもの？

ミク するんじゃない？私がそうだったわけだし。

マネ いや、でも…。

ミク 死ぬのに理由って必要？人生に伏線って必要？いじめにあつた方がよかった？友人関係に悩んでいた方が良かった？受験に失敗した方が良かった？家族仲が悪い方が良かった？

私 ……

ミク そんなこと誰も望んでいないでしょ？でも、そんな理由がないと死んじゃダメだったの？

私 ……

ミク 「私ってなんのために生まれてきたんだろう」「私の存在意義って何なんだろう」「私の

私 生きる意味って何なんだろう」。

私 ……

私 「人は死ぬとどうなるんだろう」。

私 ……

私 そんなことを考えながら生きていたら、ただなんとなく疲れちゃって、ただなんとなく歩くのを止めてみたくなる。

私 ……

私 そんな感覚。

私 ……

私 でも、私だったらわかるはずでしょ？だって、同じ私なんだから。

ミク、私と未来の私たちの顔を見渡す。

オタク まあ、なんとなく？

文化祭 まじ？

オタク いや、まあ、なんとなくだよ。ほら、私、まだ厨二病全開のお年頃だから。

スラ これだからオタクは。

オタク でもこれって、みんな一回は考えたことでしょ？

バイト ……まあ、たしかに。

失恋3 そう言われれば、ね…。

ミク (私に向かって) でしょ？

私 (無言でうなづく)

ミク ほら。

普通 考え出すときりがなくてね。

リア充 だいたいこういうこと考えるのは一人の時だから、余計に暗くなっちゃうんだよね。

文化祭 でも、忙しくなるとなくなっていた気がするけどね。

バイト 私は逆だなあ。忙しくなると、不安になってぐるぐる考えてた。

私 今は？

バイト 今は、別に…。

ミク へー。

失恋1 それでも、実際に死ぬっていうのはちょっと…。

オタク 気持ちは分からなくはないけど…。

一軍 ねえ、死ぬってどんな感じなの？

バスケ やっぱり痛いのか？

調理 怖かった？

ミク 何も感じなかったよ。布団に入って目をつぶって気が付いたら朝を迎えている感じ？

悪い そうなんだ。

間。

失恋2 それで、中3の私に「死ぬのは良くないよ」って教えに来てくれたの？

間。

失恋2 ねえ？

間。

ミク はずれ。

調理 え？

ミク ぜーんぜん外れ。同じ私なのに、何にもわかってないなあ。

私 …。

ミク 私はね。

ミクが私に視線をやる。

私 私を殺しに来た…。

ミク 殺しに来たって言われると、ちよっと物騒な感じがするね。

私 でも、そうなんですよ。

ミク まあね。

おやじ 殺しに来たってどういうこと？

ミク そのまんまの意味だよ。

マネ え、なんで？

ミク 私は、私の一番の味方でありたいから。だから、教えてあげたの。こんな人生意味ないよって。しんどいだけだよ、どんなに頑張ったって報われないよって。私が死んでも世界は変わらなかったように、あなたが生きていても死んでいても、なにも変わらないよ。だから、一緒に逝こうって。

賢い ちよっと待ってよ。

賢い なに。

失恋1 たとえ辛いことがあったとしても、生きていけばなんとかなるって。

応援団 死んだらもう終わりなんだよ。

マネ 生き返ることなんて、できないんだよ。

ミク わかってるよ、それくらい。

調理 生きたくても生きられなかった私もあるかもしれないし…。

リア充 病気になった私とか、事故にあった私とか。

文化祭 ね？その人たちのこと考えたらさ…。

ミク だからなに？

賢い なにって。

ミク それと今の私たちに何の関係があるの？私たちのことを救ってくれるの？

私 …。

ミク 違うよね。

スラ でもそれだったら、あなただって今の私と無関係の存在でしょ？

ミク そうだね。

賢い だったら、あなたが自分の人生を勝手に終わらせるのは自由だと思うけど、それを今の私に強要しないでよ。

ミク なんで？さっきから言ってるじゃない、苦しいだけの人生を送るくらいなら、いつその場で終わらせた方が幸せだって。

失恋1 そんなことはない！

バスケ 大変なことはいっぱいあるけど、楽しいことだってもっといっぱいあるよ。

ミク じゃあ、聞くけど。みんなは何のために生きてるの？生きる意味って見つかったの？ねえ、誰か教えてくれない？私たちに。

間。

普通 おいしいものを食べたい…。

応援団 誰かに喜んでほしい…。

オタク 推しの布教のため…。

ミク くだらない。

一軍 友達と楽しく過ごしたい…。

リア充 誰かの大切な存在になりたい…。

失恋1 運命の人に出会いたい…。

ミク 所詮その程度でしょ…。

私 …。

ミク 私たちの人生って…。

間。

普通 私は、ちょっとだけあなたの言っていることがわかる気がする…。

失恋2 え？

普通 もちろん、死ぬのはよくないし、それを強要するのも絶対ダメだと思うけど。

私 …。

普通 でも、なんとなく…。

間。

失恋2 ねえ？あなたは見つかったの？生きる意味。

ミク 私？

失恋2 うん。

ミク 私はね、今この瞬間だと思う。今の私に、この人生の無意味さを教えるために生まれてきたの。

私 …。

ミク ね？

悪い かわいそう…。

ミク …なに？

失恋1 私たちのことが羨ましいの？

ミク は？そんなわけないでしょ。

失恋2 うそだ、部活とか行事とか彼氏のこととかで盛り上がってたじゃん。

リア充 100%本心じゃないにしても、少しは後悔の気持ちがあるんじゃないの？

ミク そうやって聞こえてたんだ、ごめんね。私は馬鹿馬鹿しいって思ってた。そんなくはないことで一喜一憂して。そんなの何にも意味がないのにつて。

バスケ 私たちは頑張ったんだよ、少なくとも何もしなかったあなたと違って！

ミク ！

マネ 同じ私なんだからそれくらいわかるでしょ。私たちがどれだけ不安を抱えていたか。その不安を払拭するために、一生懸命頑張ったことが。一步踏み出す勇気が大切で、それがどれだけ大変なことか。それなのに、なんで意味がないって言い切れるの？

ミク そんなのたまたまでしょ。

マネ たまたまだろうと、何もしなかったあなたに言われる筋合いはない！

ミク (自分自身につぶやくように) 私だって…。

失恋3 (私に向かって) あなたは？

私 ！

失恋3 あなたはどう思っているの？

私、は…。

間。

男 ボクはミクちゃんがいなくなったら寂しいかなあ。

リア充 タカシ？

ミク あなたには聞いてないんですけど。

男 寂しい？悲しい？いや、なんて表現すればいいのかわかんないけど…。でも、やっぱり嫌だなあ。

ミク 馬鹿馬鹿しい。それは彼女だからでしょ。

男 まあ、確かにそうかもしれないけど。

ミク 全然知らない赤の他人が死んだって、きっと何も思わないよ。

男 そうかなあ。

ミク そうだよ。

男 でもさあ。高校の同級生が亡くなった件あったじゃん？

悪い あった？

おやじ いや。

リア充 あ、うん。

男 あれは、交通事故だったと思ったけど。ボク、体育の選択で一回か二回話したことあつ

たんだよね。

…。

私 …。
男 ペア組んでパス交換したくらいだったと思ったけど、それでも、その話を聞いたときには悲しかったからね。

ミク だから？

男 他人だろうとなんだろうと、身の回りの誰かがいなくなるのは寂しいなあって話。それが、ましてや自分の彼女だったら…。

ミク 残念だけど、私に彼氏はいなかったからね。

男 想像するのも辛いけどさ。

ミク 何が言いたいの？

男 彼氏はいなかったかもしれないけど、ミクちゃんがいなくなったことを悲しんだ人は、きつといたと思うんだよね。ほら、友達がいなかったわけじゃないって、自分でも言うてたしさ。

ミク そんなこと思うわけないよ。どこかの誰かが死んだな、それだけだよ。

男 そうかなあ。

ミク そうだよ。

男 きつと、ボクは悲しんだと思うよ。

ミク は？

男 たぶん、そっちの世界線にもボクはいたと思うんだよね。

ミク 意味わかんない。

男 たとえ同級生で一度も話したことがなかったとしても、やっぱり悲しかったんじゃないかな。
かな。

ミク はいはい。

男 ごめんね、なんか変なこと言っちゃって。

ミク (皮肉たつぷりに) あなたに会えなくて残念だったよ。

男 次に会ったときには、こっちから話しかけるよ。

ミク ま、次はもうないけどね。

男 (リア充の私に向かって) ごめんね。

リア充 いや、別に…。

男 ミクちゃんも、なにか困ったことがあったら、遠慮なく話してね。

リア充 あ、うん。

微妙な間。

私 …お父さんは？

ミク え？

私 お父さんはどうしたの？

ミク …お父さん。

応援団 そうだよ。

一軍 お父さんだよ。

オタク お父さんがいるじゃん。

不意に出てきた「お父さん」という言葉に、なんとなくテンションが上がる私たち。

失恋3 悲しむ人いるよ。

オタク いや、絶対悲しむでしょ。

悪い 絶対そう。

失恋1 だって、「ミクにはお父さんよりも長生きしてほしいなあ」ってよく言ってるしね。

スラ 言ってる言ってる。

リア充 「お母さんは早くに亡くなっちゃったからなあ」って。

バスケ 自分の方が倒れそうなのにね。

悪い え、そうなの？

応援団 え、そっちは違うの？

悪い 元気だよ。

賢い ウチも、めちやくちや元気だよ。

スラ 元気すぎて、いろいろ口出ししてくるからすごいぞい。

マネ そうなんだ。

失恋2 うちのお父さんはまだ調子悪いよ。

調理 へー。

失恋2 あ、でも、前みたいに寝たきりな感じじゃないけどね。

バスケ 自分に合った仕事見つかったみたいで、自分のペースで働いているよ。

一軍 あ、でもさあ。中学校のときは違って、この前の卒業式はさ。

オタク 来た！

リア充 来なくてもいいよって言ってたけど、来てくれたら、やっぱり嬉しかったよね。

失恋1 ね。

お父さんの話でひとしきり盛り上がる私たち。

それを苦虫を潰したような表情で眺めている私。

私 あなたののお父さんは？

ミクに視線が集まる。

ミク 私のお父さんは…。

間。

ミク 死んだよ。

私 え？

ミク 今年の1月に。

失恋3 …そんなに体調悪かったの？

ミク 病気じゃない。交通事故。

失恋3 あ…。

ミク ちよっと買い物に出たときに車にはねられて。

私 そうだったんだ。

重苦しい雰囲気。

突然、ミクが狂ったように笑い出す。

ミク ふふ、ふふふふふふ…。あははははは…。

その様子を見つめる私たち。

ミク そっか、そういうことだったんだ…。

私 …。

ミク あー、おかしい。

私 …。

ミク わかった。

私 …。

ミク だから、あなたたちは能天気生きてこれたんだ。

バイト 能天気？

ミク だってそうでしょ？大変だ大変だって口では言ってるけど、でも、そんなの全然大したことないじゃん。

普通 いや、でも。

ミク 何が大変だったの？自己紹介で無理して一軍女子に入ろうとしたこと？オタクの友達に付きまとわれたこと？入りたくもない部活に入って、やりたくもない練習やっていたこと？面白くもない行事を、親しくもない友達と無理して盛り上がったこと？ふられたこと？受験失敗したこと？一人ぼっちだったこと？

私 …。

ミク それの何が大変なの？ねえ、教えてよ！

私 …。

ミク ねえ、ねえ、ねえ！

私 …。

ミク 誰も答えられないじゃん！

私 …。

ミク ほんと、馬鹿ばっか！

私 …。

ミク あーあ、死んで良かった。

間。

ミク 「同じ私なんで、最終的には否定しないで理解できる」。

私 ……

ミク 全然ダメじゃん。嘘ばかりじゃん。

私 ……

ミク 私は私のそういうところも嫌い。綺麗事しか言わないで、その場をなんとか取り繕って生きている感じが。

私 ……

ミク 私だって！自分を変えようと頑張った！でも、結局、なにも変わらなかった！一生懸命頑張ったけど、それが全部空回りした！自己紹介だって頑張った！部活にも入って、バイトも頑張った！行事だって、勉強だって、修学旅行だって！でも、頑張れば頑張っただけ息苦しくなって、自分の居場所がなくなっていく感じがした。何者にもなれるあなたと違って、私は何者にもなれなかった。それに、お父さんも…！だから、私は私を殺したの。もう何も考えたくないから。誰の期待も裏切りたくないから。私だって、もっと…！

間。

私 あなたは後悔していないの？

ミク なんて後悔するの？

私 だって…。

私の思いが交錯するなか、父親の声が聞こえてくる。

父 おーい、帰ってるのか？

その声に、一気に現実の世界に戻る私と久しぶりに父親の姿を見るミク。

私 お父さん…。

父 おかえり。

私 ただいま。

父 卒業式どうだった？

私 ……良かったよ。

父 そうか。

間。

父 どうしたんだ、ぼーっとして？

私 ちよっと考え事してて。

父 そうか。

間。

私

お父さん。

父

どうした？

私

お父さんは、私がいなくなったらどう思う？

父

急にどうしたんだ？

父、私のいつもと違う雰囲気を感じ取る。

父

お父さんよりも長生きしてほしいなあ。お母さんは早くに亡くなっちゃったから。

私

それ、よく言ってるよね。

父

そうか…。

私

…ごめん。

父

事故とか病気とか？

私

そっぢゃない。

父

そうか。

私

…。

悲しいっていう気持ちはもちろんだけど、「気づいてあげられなかった」っていう罪悪感に襲われるんじゃないかな。

私

罪悪感…。

父

お父さんにも何かできることがあったんじゃないかって。

私

…。

父

何かあったのか？

私

…。

父

そうか。

私

もし、私がそんなことしたら、お父さんは怒る？

間。

父

怒らないよ。

私

ほんと？

父

本当だよ。

ミク

ねえ、お父さん。私のことも怒ってない？

父

謝ることはあっても、怒りはしないよ。辛い思いをさせちゃってごめんなんて。

私

お父さん…。

父

なにか困ったことがあったら言えよ。お父さん、力になるからな。

私

お父さんも体調には気をつけてね。

父

ありがとう。

私

…。

父 4月からは高校生か。

私 朝も同じこと言ってた。

父 ごめん。

私 お父さんは、高校生活楽しかった？

父 楽しかったよ。

私 本当？

父 部活は大変だったけどな。

私 何部だったの？

父 野球部だったかな。

私 初めて聞いた。

父 あれ、言ったことなかったか？

私 うん。

父 でも、小さいころはキャッチボールもよくしたんだぞ。

私 覚えてないよ。

父 そうか…。

私 …。

父 ミクの人生なんだし、ミクのやりたいことをやればいいから。

父 会話がなくなり、父が去っていくようにする。

父 その背中に向かってミクが語りかける。

ミク お父さん！

父、聞こえるはずのないミクの声が聞こえ、ふいに振り向く。

父 ミク？

ミク、父親に自分の気持ちを伝える。

ミク ごめんね。私はお父さんに相談することができなかったんだ。お父さんも体調悪そうだったし、自分のことは自分でやらなきゃって思っちゃって。本当はもっともってお父さんと話が出なかった。学校のこと、友達のこと、将来のこと。でも…。

間。

父 ミク…。大変だったんだな。

ミク え？

父 よく頑張ったな。

ミク …。

父 よく頑張った。

父親、私と私を強く抱きしめる。

私・ミ お父さん…。

しばらく抱き合ったまま3人の無言の会話が続く。
父親がその手を緩める。

父 夜ご飯、なにかリクエストあるか？

私 …オムライス。

父 わかった。じゃあ、買い物行ってくる。

私 気をつけてね。

父 ありがとう。

ミク 行ってらっしゃい。

父 行ってきます。

父が去っていく。

肩を震わせているミク。

その背中を優しくさする私。

見守る私たち。

私 大丈夫？

ミク、うなずく。

私 ありがとう…。

ミク え？

私 私にはわかるよ、あなたの生きた意味が。

ミク なにそれ。

間。

私 会えてよかった。

間。

私 ありがとう。

ミク、自分の存在意義について自分なりの答えを見つけた、ような気がする。
別れが近づいていることを感じ、暖かくもさみしい雰囲気になる。

応援団 フレー…、フレー…、わ・た・しいー！

突然の大きな声にみんなが振り向く。

応・他 それ！フレフレわたし！フレフレわたし！……！！

怪訝そうな顔をして笑っているミク。

応援団 ……自分、応援団なんで…。

ミク なにそれ。

応援団 押忍！

間。

文化祭 いや、声デカすぎでしょ。

応援団 押忍！

賢い あのさあ、やるなら事前に言っておいてよ。

応援団 押忍！押忍！

スラ それしか言わねえのかよ。

応援団 押忍！押忍！押忍！

おやじ 目玉焼きにはなにかける？

応援団 醤油。

おやじ そこはお酢じゃないんかい！

失恋1 てか、誰だよ。さっきからオヤジギャグちよくちよく挟んでるやつ。

おやじ 未来から来たオヤジな私。

調理 うわー。

応援団 こんな私にはならなくて良かった。

おやじ ヒドス。

一軍 ほら、私（ミク）も笑ってるし。

リア充 こんな私になっちゃダメだよ。

普通 ならないでしょー…たぶん。

文化祭 たぶんかあ。

悪い それも未来の可能性ですかねえ。

失恋2 あー、制服デートしたかったあ。

バイト さっきからそればかり。

失恋2 だってえ。

未来の私たち、あーだこーだと雑談を楽しそうに始める。

ミク 中学3年生の私。
私 なに？未来から来た私。
ミク ありがとう。
私 どういたしまして。
ミク ねえ？
私 なに？
私 が今何を考えているかわかる？
私 もちろん。だって…。
二人 私は私だから。

笑い合う二人。

ミク (ネクタイを指さしながら) それ。
私 え？
ミク (自殺のために) 使うことがないといいね。
私 (入学したら) すぐに使うよ。
ミク そっか。
私 うん。

間。

ミク 結んでもいい？
私 いいよ。

ミク、愛おしい手つきでネクタイを結んであげる。

ミク できた。
私 ありがとう。
ミク 上手に結べなくてごめんね。
私 大丈夫だよ。

間。

ミク ありがとう、今までの私。
私 …。
ミク 頑張ってるね、これからの私たち。

緞帳が下がる。